

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成21年4月16日 (2009.4.16)

【公開番号】特開2009-48763(P2009-48763A)

【公開日】平成21年3月5日 (2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2008-256617(P2008-256617)

【国際特許分類】

G 1 1 B 20/18 (2006.01)

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

H 0 3 M 13/15 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/18 5 3 6 E

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/18 5 1 2 C

G 1 1 B 20/18 5 3 2 E

G 1 1 B 20/18 5 3 6 B

G 1 1 B 20/18 5 7 2 C

G 1 1 B 20/18 5 7 2 F

G 1 1 B 20/18 5 7 6 F

H 0 3 M 13/15

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月6日 (2009.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の情報を符号化することによって得られる第 1 の誤り訂正符号と、第 2 の情報を符号化することによって得られる第 2 の誤り訂正符号と、所定の同期信号とを含むデータストリームが記録された記録媒体であって、

前記第 1 の誤り訂正符号は第 1 の訂正能力を有し、

前記第 2 の誤り訂正符号は前記第 1 の訂正能力よりも高い第 2 の訂正能力を有し、

前記データストリーム中では、前記第 1 の誤り訂正符号は、常に前記所定の同期信号と前記第 2 の誤り訂正符号によって挟まれて記録されるように、前記第 1 の誤り訂正符号に対して、前記第 2 の誤り訂正符号と前記所定の同期信号とが交互にインターリーブされ、

前記第 1 の誤り訂正符号に含まれるパリティの長さと、前記第 2 の誤り訂正符号に含まれるパリティの長さは等しい、記録媒体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の記録媒体に記録されたデータストリームを再生する再生装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の記録媒体に記録されたデータストリームを再生し、前記データストリームに含まれる情報に基づいて記録を行う記録装置。

【請求項 4】

第 1 の所定サイズを有する第 1 のデータを列方向に第 1 の所定数分割した第 1 の情報部と、前記第 1 の情報部に付加された第 1 のパリティとを含み、ガロア体上の R e e d - S

o l o m o n 符号を用いて符号化された第 1 のエラー訂正符号と、

第 2 の所定サイズを有する第 2 のデータを列方向に第 2 の所定数分割した第 2 の情報部
と、前記第 2 の情報部に付加された第 2 のパリティとを含み、ガロア体上の R e e d - S
o l o m o n 符号を用いて符号化された第 2 のエラー訂正符号と、

をインターリーブして、行方向に分割し、それらを連続的につなげ、R L L (R u n L e
n g t h L i m i t e d) 符号の変調符号によってデジタル変調して、記録媒体に記録し

、

前記第 1 及び 2 のエラー訂正符号の訂正能力は、符号間の最小距離を d とし、エラー訂
正可能個数を t とすると、「 $d \geq 2 \times t + 1$ 」の関係が成り立ち、

また、消失訂正個数を e とすると、「 $d \geq 2 \times t + e + 1$ 」の関係が成り立ち、

前記第 1 のデータは、A V データ、テキストデータ、アプリケーションプログラムデー
タなどであり、

前記第 2 のデータは、アドレス情報、著作権管理情報などである、記録方法。